

募集要項に係る質問に対する回答（第1回質問回答）

平成 26年 8月 5日

草津市立クリーンセンター更新整備工事に関する募集要項等について、質問に対する回答を示します。

No	資料名	頁	項目	質問等	回答
1	入札公告 草津市入札心得	4 1	16 その他必要事項 第4条 2	入札公告には、「(6)入札説明書に記載の入札参加資格審査申請書または技術提案書類の提出者が1者となった場合においても、落札候補者選定基準に基づき落札候補者の選定を行うものとする。」とありますが、草津市入札心得には、「(4)入札の辞退等により入札参加者が1人となるときは、入札執行を取りやめる。」とあります。入札公告に記載されている内容が正と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
2	入札説明書	3	II 工事内容等 6. 事業方式	工事期間が平成30年3月15日とあり、施設は、平成30年3月中に引渡しを行うとありますが、契約納期は、平成30年3月15日と解釈することによろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
3	入札説明書	5	III. 1. 契約手続きまでのスケジュール (予定)	現地説明会を通して質問事項が発生することも考えられますので、第1回質問提出期限後にも質問を受け付けていただくことを、ご検討いただけますでしょうか。	平成26年9月19日まで、第2回目の募集要項に対する質問を受け付けます。回答は、対面的対話時または、メールにて行います。
4	入札説明書	5	III. 1. 契約手続きまでのスケジュール (予定)	募集要項に対する質問への回答(第2回目)がありませんが、対面的対話で回答頂けるとの理解でよろしいでしょうか。また、対面的対話で回答頂ける場合、その質問内容はすべて公開されないものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。ただし、公平性を担保するために必要と思われるものについては公開します。

5	入札説明書	8	Ⅲ 3 (4) 入札参加資格の喪失	入札参加資格申請時に提出する経営事項審査結果通知書の有効期限が落札者決定日までに切れますが、入札参加資格申請期間に要件を満たしていれば宜しいでしょうか？	入札参加資格申請書の提出期限日において資格を有していることを確認します。 なお、落札者決定日までに、経営規模等評価結果通知書総合評定値通知書の更新を行なった場合は、速やかに最新の通知書（写）を提出して下さい。
6	入札説明書	11	Ⅲ. 4. (3) 共同企業体の入札参加資格に関する事項 ⑤	プラントメーカーとゼネコンによる異業種企業で構成される共同企業体での参画を検討しておりますが、入札説明書において「経営の形態は、共同施工方式であること」とあります。 異業種企業による共同企業体では、企業ごとに施工できる範囲(工種)が分けられてしまうため、共同施工方式（甲型JV）は適さないと考えております。異業種企業による共同企業体は、通常、分担施工方式（乙型JV）を採用していることから、本工事においても分担施工方式の採用をお認めいただけないでしょうか。 なお、東京二十三区清掃一部事務組合等の自治体では、同様のごみ処理施設建設工事において「分担施工方式」を採用しております。	入札説明書の通りとします。
7	入札説明書	13	(4)入札保証金	入札説明書には「入札保証金は免除する」と記載されておりますが、草津市入札心得の第2条には「草津市契約規則第9条により免除を受けた場合を除いて～入札執行時までに納めなければならない」と記載されております。本件は入札説明書に従って、入札保証金は「免除」という理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
8	入札説明書	16	Ⅲ. 10. (2)募集要項の承諾	「技術提案書類及び入札書の提出をもって、募集要項の記載内容を全て異議なく承諾したものとします。」とありますが、「募集要項に対する質問への回答」と「募集要項」との記載が異なる場合、「回答」が優先されると考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
9	入札説明書	18	Ⅳ. 対価の支払いに関する事項	各年度の出来高の指定はないものと理解してよろしいでしょうか。 指定がある場合は、金額または割合をご教示願います。	各年度の出来高については、契約締結時に協議のうえ、年割額として契約書に記載をします。

10	落札候補者選 定基準書	8	別紙2 安全で安定した施 設	中項目「安全・安定処理できるプラント設計」および「安定稼働(運転)の実現」の両者に「トラブル」に関する記述が求められていますが、前者は安全面に関するトラブルについて、後者は機器の故障等の主にハード面に関するトラブルについて記載すればよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
11	落札候補者選 定基準書	8	別紙2 安全な施設配置・ 車両動線計画	「敷地内の車両動線」と「施設内の車両動線」の違いは、前者は敷地入口から計量棟を経て工場棟へ往復する動線を示し、後者は工場棟周回路および建屋内の動線を示すものとの理解でよろしいでしょうか。	前者は敷地内の建屋外、後者は建屋内とします。
12	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 経済性・効率性を 考慮した施設	LCC(イニシャルコスト、メンテナンスコスト等)という文言がありますが、イニシャルコストは価格評価の対象であることから、竣工後に貴市が負担するコストについて考慮すればよろしいでしょうか。	イニシャルコストとメンテナンスコストを含むものとします。
13	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 年間発電計画およ び売電計画	ここに記載する年間発電量、年間売電量、発電効率 は、施設設計図書の設計基本数値計算書と同じ数値を 記載するとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
14	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 年間発電計画およ び売電計画	年間売電量や発電効率の算出にあたり、発電は蒸気 タービン発電機による発電に限定され、気象条件によ る変動の大きい太陽光発電や風力発電等は含まないも のとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
15	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 年間発電計画およ び売電計画	評価の視点に「定量比較」とありますが、定量比較の 対象は年間売電量および発電効率であると解釈してよ ろしいですか。また定量比較の方法をご教示願いま す。	お見込みの通りです。 なお、定量比較にあたっては、発電効率による評価を 行うとともに、年間売電量による評価を重視します。 なお、評価にあたっては、定量比較とあわせ、実現の 可能性、実施効果の観点からの評価を行うものとしま す。
16	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 年間発電計画およ び売電計画	関連設備のLCCとありますが、比較対象となる関連設 備の範囲をご教示願います。	発電に直接関係する設備とします。ただし、過熱器 は、除きます。

17	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 契約電力低減の工 夫	評価の視点に「定量比較」とありますが、定量比較の 対象は契約電力量ではなく契約電力料金の大小と考 えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
18	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 長寿命化の実現・ 効率的な施設運営	本発注仕様書を満足するために必要な維持管理費、定 期補修費、運転人員と、提案により削減できる維持管 理費、定期補修費、運転人員の差をもって定量評価が されるという理解でよろしいでしょうか。 「必要」な値が大きく算出された場合、削減できる値 が大きくなりますので、公平な評価とまらない可能性 があります。 本評価項目の公平性を確保するため、提案による削減 後の費用または人員数の絶対値にて定量評価頂きます ようご検討願います。	削減後の費用、人員等について定量比較するととも に、削減の工夫点については、妥当性、実施効果の観 点から評価します。
19	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 維持管理費低減の 工夫	維持管理にかかる薬剤単価や上水料金(基本料金、従 量料金)、下水料金(基本料金、従量料金)、電力料金 (基本料金単価、買電単価、売電単価、アンシラリー サービス料等)については、本評価項目の公平性を確 保するため、提案書用の単価をあらかじめご提示いた だけないでしょうか。	想定される規模、使用量で、平成26年10月1日時点の 単価を各自調査の上、記載してください。評価の段階 で統一できるものについては、統一します。なお、特 殊薬剤等、薬剤単価の統一が難しいものは、提案単価 とします。
20	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 維持管理費低減の 工夫	本項目における維持管理費とは、第4-4-2様式で示さ れている「用役費」と理解してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
21	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 維持管理費低減の 工夫	評価の視点に「定量比較」とありますが、維持管理費 の定量比較の対象は第4-4-2様式の記載内容という理 解でよろしいでしょうか。また、定量比較の方法をご 教示願います。	お見込みの通りです。 定量比較は、第4-4-2様式の年間用役費によります。 ただし発電による売電収入は含みません。

22	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 維持管理費低減の 工夫	ごみ処理施設の維持管理費はごみ量・ごみ質の変動や 運転計画の変更によって大きく変動します。また、施 設の運転管理を受託した企業の運転方法によっても維 持管理費は大きく変動します。 維持管理費の保証は、本事業の範囲外と考えますの で、本提案での提示値は回答メーカーが運営委託も受注 した場合を想定しての参考値として回答すればよろし いでしょうか。	ごみ質・ごみ量の変動によるものについては、お見込 みの通りです。ただし、運転方法によるものについて は、回答メーカーが運転委託を受注した場合と同等の効 果が得られるよう、試運転期間中に運転管理を受託し た企業に教育、指導を徹底することとします。
23	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 維持管理費低減の 工夫	売電については「エネルギーの有効利用／年間発電計 画および売電計画」で評価されることから、本項目に おける維持管理費には売電収入は含めないものと考え てよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
24	落札候補者選 定基準書	9	維持管理費低減の 工夫	「一般の市販品は、本市にて統一単価とする場合があ る」と記載されています。 統一単価を用いるものをご教示ください。	各社の技術提案の内容により決定します。
25	落札候補者選 定基準書	9	定期補修費低減の 工夫	「加熱器にかかる・・・」とありますが、ボイラの過 熱器のことと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
26	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 定期補修費低減の 工夫	本項における定期補修費とは、第4-5-2様式で示され ている「年間補修費」と理解してよろしいでしょ うか。	お見込みの通りです。
27	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 定期補修費低減の 工夫	評価の視点に「定量比較」とありますが、定期補修費 の定量比較の対象となる範囲は第4-5-2様式の記載内 容であり、期間は20年と解釈してよろしいでしょ うか。また、定量比較の方法をご教示願います。	お見込みの通りです。定量比較の方法は、20年間の合 計費用とします。
28	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 定期補修費低減の 工夫	ごみ処理施設の定期補修費は、ごみ量・ごみ質の変動 や、運転計画の変更によって大きく変動します。ま た、提案企業以外の業者が定期補修を行うことになる 場合には、定期補修費は異なったものになります。 定期補修費の保証は、本事業の範囲外と考えますの で、本提案での提示値は回答メーカーが運営委託も受注 した場合を想定しての参考値として回答すればよろし いでしょうか。	お見込みの通りです。ただし、提示値は、回答メーカ が定期補修を受注した場合の保証値とします。

29	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 定期補修費低減の 工夫	「加熱器にかかる補修費は含めないこと」とありますが、本機器はボイラの「過熱器」の誤記でしょうか。	お見込みの通りです。
30	落札候補者選 定基準書	9	長寿命化の実現・ 効率的な施設運営	「維持管理費低減の工夫」、「定期補修費低減の工夫」、「運転人員低減の工夫」について、評価の視点は定量比較とありますが、「通常」の数は各社異なるため、削減後の数を評価するものと解釈してよろしいでしょうか。	削減後の数について定量評価をするとともに、低減の工夫等についても、妥当性、実現性の観点から評価をします。
31	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 運転人員削減の工 夫	評価の視点到「定量比較」とありますが、定量比較の対象は第4-2-2号様式の記載内容と解釈してよろしいでしょうか。また、定量比較方法をご教示願います。	提案をいただいた運転人員に、市で考える単価を乗じて比較を行ないます。
32	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 過熱器の耐用年数 とその実現対策	評価の視点到「定量比較」とありますが、定量比較の対象は本項で提案する過熱器の耐用年数と解釈してよろしいでしょうか。また、定量比較方法をご教示願います。	定量比較の対象は、過熱器のLCCとします。定量比較の方法は、20年間の合計費用とします。
33	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 地域貢献	草津市内に事業所（本社・本店）を有する企業の活用の提案を求められておりますが、商社行為（製造・施工・設計・管理等を行わない商行為）を行う市内業者が市外業者へ発注する場合、市内業者活用と認められないものと考えてよろしいでしょうか。	市内業者活用と認めます。
34	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 地域貢献	「草津市内に事業所を有する企業の活用」とありますが、本項目では、実際に草津市内の企業が、資器材の供給や機器の制作、施工等に携われるよう配慮することが評価されると理解してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
35	落札候補者選 定基準書	9	別紙2 社会貢献	「事業者としての、男女共同参画の推進、環境保全活動の取り組み」について記述することになっておりますが、本事業に限定せず、日常的な事業者の取り組みを記述することとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

36	様式集 (その1)		第2-1号様式 入札参加資格審査 申請書	入札参加者欄に「代表者又は受任者名」とありますが、「第2-5号様式 委任状」で受任者を決定し委任した場合、その受任者名の記載と受任者の個人印のみを押印すればよろしいでしょうか。また、第2-4号様式、第2-6号様式、第2-8号様式、第3-1号様式、第3-2号様式、第3-3-1号様式、第3-3-2号様式についても同様でしょうか。	お見込みの通りです。 なお、本市入札参加資格審査申請時に、法人の代表者から、支店長・営業所長（受任者）等へ権限を委任されている場合には、御質問の様式は、全て受任者名で記載いただき、本市入札参加資格審査申請時に登録された使用印鑑を押印いただくことを基本とします。 なお、異なる印鑑を使用する場合は、別途様式2-6号の提出を求めます。
37	様式集 (その1)		第2-3号様式 入札参加者の配置 予定監理技術者	配置予定監理技術者は、現時点で技術者を特定することが困難なことから、候補者を複数人記載させていただき、契約時にその中から1名を選択させていただくことは可能でしょうか。	お見込みの通りです。
38	様式集 (その1)		第2-5号様式 委任状	「(5)代表者の復代理人の選任・・・」とありますが、復代理人とは「第3-3-2号様式 委任状」で届け出る代理人との理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
39	様式集 (その1)		第2-6号様式 印鑑届	本様式は、貴市への競争入札参加資格審査申請時に登録した使用印鑑と異なる印鑑を使用する場合のみ提出するとの理解でよろしいでしょうか。また、受任者印として個人印を使用する場合にも本様式の提出が必要でしょうか。	お見込みの通りです。 なお、受任者印として個人印を使用する場合にも、本様式の提出を求めます。
40	様式集 (その1)		第2-7号様式 入札参加資格要件 を証明する書類の 写し	「(4)資本関係・人的関係がわかるもの」とありますが、具体的にどのようなものを提出すればよろしいでしょうか。	任意様式で、次の資料の提出を求めます。 ・会社法第2条第4号の親会社・子会社の一覧 ・親会社がある場合、その親会社の他の子会社の一覧 ・役員で、他の会社の役員・管財人を兼ねている者および兼任先会社の一覧
41	様式集 (その1)	-	第2-7号様式 1. (1) 納税に係る滞納の ない証明書	法人市民税の平成25年度の納付期限が8月末であり、その証明書を入手できるのは9月頃になると想定されますが、平成24年度に関して滞納のない証明をすることによろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

42	様式集 (その1)	-	第2-7号様式 1. (3) 賃借対照表及び損 益計算書の写し	「直近3ヵ年分」とありますが、現在平成25年度の決算書を作成中であり、入札参加資格の審査申請提出期限に間に合わない場合が考えられますが、その場合平成22～24年度の3ヵ年分の提出でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
43	様式集 (その1)		施設設計図書内容 項目一覧	図面のうち、「各階平面図」については「各階機器配置図」と兼用させていただいてもよろしいですか。	お見込みの通りです。
44	様式集 (その1)		技術提案書類作成 要領 (2)評価内容と提 案に含める内容に ついての注意事項 ③3-14, 3-16	「イメージ図A3×1頁」と記載がありますが、イメージ図のアンクル(視点), カット数に指定はなく、提案によるものとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
45	様式集 (その2)		第4-4-1号様式 用役単価等	用役費用の算出にあたり、電力、燃料、用水、薬剤等の単価をご教示願います。また、第4-4-2号様式、第4-6号様式においても同様の単価で算出するとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。 想定される規模、使用量で、平成26年10月1日時点の単価を各自調査の上、記載をするものとします。
46	様式集 (その2)		第4-4-1号様式 用役単価等	熱回収施設に関しては、算出条件として「基準ごみ 34,600t/年、1炉当たり年間 280日以上」と明記されていますが、リサイクル施設については記載がありませんので、算出条件をご教示願います。	粗大ごみ・破碎ごみライン 849t/年 244日以上 びん類ライン 847t/年 244日以上 空き缶類ライン 266t/年 244日以上 陶器・ガラス類ライン 469t/年 244日以上 とします。
47	様式集 (その2)		第4-4-1号様式 第4-4-2号様式 用役単価等	売電収入は、本様式用の用役費用に合算する必要は無いとの理解でよろしいでしょうか。売電収入を合算する必要がある場合は、バイオマス分の固定価格買取制度における売電単価、バイオマス分以外の売電単価、およびごみ中のバイオマス比率をご教示願います。	お見込みのとおりです。

48	様式集 (その1)	-	第4-1号様式 施設設計図書 3) 図面	(3) 建物及び焼却炉断面図, 各階平面図, 立面図とありますが、「(2)各階機器配置図」により焼却炉平面図を兼用してもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
49	様式集 (その1)	-	第4-1号様式 施設設計図書 3) 図面 (4) フローシート	「④排水処理設備」と「⑥排水処理」を兼用してもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
50	発注仕様書 (熱回収施設)	1	第1章 第1節 5. 敷地面積	敷地面積が「約1.9ha (既存施設を含めると、約3.3haの敷地面積となる。)」とありますが、建築基準法上必要となる敷地はどちらと考えればよろしいでしょうか。また、添付資料2には赤線で敷地境界線が明示されており、別敷地の取り扱いをされているようにも思われます。工事範囲、建築基準法の敷地を具体的に指示願います。	建築基準上の敷地面積は、既存敷地を含む約3.3haとします。
51	発注仕様書 (熱回収施設)	1	第1章 総則 第1節 計画概要 6. 全体計画 2) 工事計画 (3) 事業予定地	事業予定地のグラウンドを平成27年11月末まで一部開放するとありますが、解放する一部がどの範囲であるかご教示願います。	事業予定地全体をグラウンドとして一般開放します。
52	発注仕様書 (熱回収施設)	2	第1章 第1節 6. 1) 全体計画 (9)	「生成物運搬車 (最大積載量15t車)」の車両寸法をご教示願います。	全長12m×巾2.5m×高さ3.3m とします。
53	発注仕様書 (熱回収施設)	2	第1章 第1節 6. 1) 全体計画 (9)	「生成物搬出車両(最大積載量15t)」とありますが、5頁では搬出車両 10t、14tと記載されています。最大14tとの理解でよろしいでしょうか。	最大15tを正とします。
54	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章総則 第1節計画概要 7. 立地条件 2) 都市計画事項 (6) 緑地	「20%以上確保すること。」とありますが、緑地率の算定において屋上緑化や壁面緑化の面積を加算できるものと解釈してよろしいでしょうか。またその際、草津市景観形成ガイドラインにおける、緑地面積の算定基準を採用できるものと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

55	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章 第1節 6. 2) 工事計画 (3)	「事業予定地は、現在グラウンドとして利用しており、平成27年11月末までは、一般開放するので、工事工程において考慮すること。」とありますが、ボーリング調査を詳細に実施するために、一般開放を平成27年3月末までとするようご検討いただけないでしょうか。	施設の利用状況と工事工程を踏まえて協議をするものとします。
56	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章 第1節 7. 2) (6) 緑化率	緑化率については「20%以上確保すること」とありますが、添付資料2で示された、現市立クリーンセンターのエリアも含めて、20%を確保するものと考えればよろしいでしょうか。	緑化率の範囲は、事業予定地の約1.9haとします。
57	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章 第1節 7. 2) (6) 緑化率	「緑化率 指定なし (20%以上確保すること。)」とありますが、草津市景観計画における敷地内の緑化措置では「都市計画法第8条の規定による用途地域内にあつてはこの限りではない」との記載が有ります。上記により、事業主様の任意による20%の敷地内緑化確保と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。 ただし、草津市景観形成ガイドラインにおける、緑化面積の算定基準に準じるものとします。
58	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章 第1節 7. 2) (6) 緑化率	緑化率には屋上緑化・壁面緑化等も含まれるとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
59	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章 第1節 7. 2) (6) 緑化率	「緩衝帯として敷地周囲に緑地 (3~5m以上) を設けること。」とありますが緩衝帯の計画範囲は添付資料2に示される敷地北側および南側の道路境界線に接する部分に出来るだけ計画するものと考えてよろしいでしょうか。	敷地北側、南側の道路境界線と、東側の敷地境界線とします。
60	発注仕様書 (熱回収施設)	3	第1章総則 第1節計画概要 7. 立地条件 2) 都市計画事項 (7) その他	日影規制について、建築基準法22条地域は適用外と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。 ただし、日影図は開発協議に必要となりますので、作成するものとします。

61	発注仕様書 (熱回収施設)	4	第1章総則 第1節計画概要 7.立地条件 4)敷地周辺設備 (4)雨水	敷地場内の雨水排水について、最終桝の流出先と接続の方法をご教示願います。	「環境影響評価書P26 3-3-7 雨水排水計画」に基づき計画をするものとします。
62	発注仕様書 (熱回収施設)	4	第1章総則 第1節計画概要 7.立地条件 4)敷地周辺設備 (4)雨水	今回の更新整備工事に際して、雨水調整池などの開発行為に関わるような、流出調整施設の設置は不要と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
63	発注仕様書 (熱回収施設)	5	第1章 総則 第2章 計画主要目 1.処理能力 3)搬出入車両 (2)搬出車両	搬出車両は10t, 14tとありますが、2ページでは、「生成物搬出車両(最大積載量15t車)」とあります。最大車両は、14t車と解釈してよろしいでしょうか。想定される、最大車両のカタログ等があればご提示願います。	15t車を正とします。 車両寸法は、全長12m×巾2.5m×高さ3.3m とします。
64	発注仕様書 (熱回収施設)	5	第1章 総則 第2節 計画主要目 6. 主要設備方式 2) 設備方式 (1)受入・供給設備	「ダンピングボックスは、パッカー車の展開検査にも使用可能・・・」とありますが、必要容量や寸法の指定があればご教示願います。	事業者提案とします。
65	発注仕様書 (熱回収施設)	6	第1章 第2節 6. 2) (6) 余熱利用設備	将来の場外余熱利用については、100℃未満の温水を供給できるよう、低圧蒸気ラインに予備管台を設けておくこととすればよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
66	発注仕様書 (熱回収施設)	6	第1章 第2節 6. 2) (7) 給水設備	プラント用として利用する既存の井戸の井水水質をご提示願います。	別途、必要に応じて、水質検査を実施してください。
67	発注仕様書 (熱回収施設)	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画 4)	発電効率14%を達成する条件として、季節は冬、外気温5℃程度の条件と考えてよろしいでしょうか。	環境省「高効率ごみ発電施設整備マニュアル」の第2章 高効率ごみ発電施設の交付要件、2-1 発電効率によるものとします。

68	発注仕様書 (熱回収施設)	6	第1章 第2節 8. 5) 焼却排ガス	「再循環式」との記載がありますが、ご指示の公害防止基準を最も経済的な方式で遵守するために、再循環式の採用については事業者の提案とさせていただきます。よろしいでしょうか。	発注仕様書の通りとします。
69	発注仕様書 (熱回収施設)	13	第1章 総則 第6節 性能保証 1. 引渡性能試験 6) 安定稼働試験	90日以上安定稼働試験を施設引き渡し後の保証期間中に1回以上実施するとありますが、計画処理量を連続して処理することの確認が目的であり、請負者の立会や第三者機関による分析等は不要であると解釈してよろしいでしょうか。	目的は、お見込みの通りです。ただし、確認に必要な各種の測定や分析調査については、事業者の負担で行うものとします。
70	発注仕様書 (熱回収施設)	13	第1章 第6節 1. 6) 安定稼働試験	「安定稼働（90日以上連続運転）の確認は、1炉毎に行うものとし、施設引渡後保証期間中に年1回以上確認すること。」とありますが、保証期間2年間で各炉毎で計4回となります。安定稼働試験中における熱回収施設の運転は貴市が実施するものとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。ただし、確認に必要な各種の測定や分析調査については、事業者の負担とします。
71	発注仕様書 (熱回収施設)	17	第1章 第8節 5. 1) 建物内備品	「建物内備品」とは、什器（椅子、机、キャビネット等）、電子機器等と理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 特に仕様書に定めるものは、対象とします。
72	発注仕様書 (熱回収施設)	18	第1章 第9節 1.-1 (6) 運転管理条件	年間運転日数は「1炉あたり280日以上」、処理対象ごみは「基準ごみ34,600 ^t /年」とのご指示ですが、1炉あたり運転日数を280日とすると、127 ^t /日×280日/年＝35,560 ^t /年となります。運転計画、用役費算出、年間発電量等算出の前提条件としては、年間35,560 ^t 処理するとして計算してもよろしいでしょうか。	年間34,600トン/年として、最も有利となる運転日数や1日処理量を検討の上、計算をするものとします。
73	発注仕様書 (熱回収施設)	23	第1章 総則 第12節 その他 1. 関係法令等の遵守 1) 関係法令	危険物取締法とは「危険物の規制に関する政令」であると解釈してよろしいでしょうか。	危険物の規制に関する規則・政令との解釈とします。

74	発注仕様書 (熱回収施設)	23	第1章 第12節 1. 1) 関係法令	本計画は、建築基準法上の計画通知または確認申請のどちらの手続きとなるかご教授願います。	計画通知とします。
75	発注仕様書 (熱回収施設)	25	第1章 総則 第12節 その他 1. 関係法令等の遵守 2) 関係規格・規定等	電気工作物の溶接に関する技術基準は廃止されております。 電気工作物の溶接については、JISや発電用火力設備基準を遵守するとしてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
76	発注仕様書 (熱回収施設)	25	第1章 総則 第12節 その他 1. 関係法令等の遵守 3) 関係基準等	「建築特記事項及び同解説」について、どのような法規であるか、出展等をご教示願います。	「建築設計基準及び同解説」(社団法人公共建築協会)とします。
77	発注仕様書 (熱回収施設)	26	第1章 総則 第12節 その他 1. 関係法令等の遵守 3) 関係基準等	「建築構造特記事項」について、どのような法規であるか、出展等をご教示願います。	「建築構造設計基準」(社団法人公共建築協会)とします。
78	発注仕様書	26	第1章 総則 第12節 その他 3. 施工 4) 保険	暴風、豪雨、洪水、高潮、地滑り、落盤、落雷、地震、火災、その他の自然災害、又は騒擾、騒乱、暴動、その他の人的な現象、かつ通常の見込み可能な範囲外のものであって、契約当事者のいずれの責めにも帰さないものについては不可抗力とし、請負者の保険は適用外と考えてよろしいでしょうか？	お見込みの通りです。
79	発注仕様書 (熱回収施設)	27	第1章 第12節 7. その他 1)	「今後、短時間で飛躍的に性能が向上する可能性があるもの(電話、TV、モニタ、AV機器、制御機器)については、各々の機器類の発注時点において最新機器を納入すること」とありますが、今後の推測は不可能なため、具体的機種については協議いただけたらとの理解でよろしいでしょうか。	機器の選定については、設計協議とします。

80	発注仕様書 (熱回収施設)	30	第2章 第1節 4. 塗装 1) 施工方法	「(5) 接液部 : タールエポキシ塗装2回以上」とありますが、含有するタール樹脂成分が特定化学物質であるため、同等の性能を有する代替品であるノンタールエポキシ樹脂塗装を採用してもよろしいでしょうか。また塗装回数については、採用する塗料の仕様に応じたものとしてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
81	発注仕様書 (熱回収施設)	30	第2章 機械設備工事仕様 第1節 各設備共通仕様 4. 塗装 1) 施工方法 (3) 配線ダクト	配線ダクトの塗装が、4回塗りですが、熔融亜鉛メッキを採用し、塗装なしの採用も可能でしょうか。P. 92の電気設備では、管：熔融亜鉛メッキ、ラック：熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板との記載があります。	事業者提案を可とします。
82	発注仕様書 (熱回収施設)	32	第2章 第1節 10. 地震対策	「火力発電所の耐震設計規程」は、プラントの耐震計算に適用されると解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
83	発注仕様書 (熱回収施設)	33	第2章 機械設備工事仕様 第2節 受入供給設備	「可燃性粗大ごみ及び資源ごみを受け入れ、同時に処理する設備を設ける」とありますが、リサイクルセンターで処理・分別された可燃性ごみをごみピットに受け入れることと解釈してよろしいでしょうか。もしくは、熱回収施設にも可燃性粗大ごみ処理装置を設けるのでしょうか。	前者を正とします。
84	発注仕様書 (熱回収施設)	33	第2章 第2節 受入供給設備	「可燃性粗大ごみ及び資源系ごみを受入れ、同時処理する設備を設ける。」とのご指示ですが、可燃性粗大ごみ及び資源系ごみは、リサイクルセンターで受入れて処理するものとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
85	発注仕様書 (熱回収施設)	33	第2章 第2節 1. 計量機 5) 計量方式 (2)	「計量機進入用信号機及び遮断機等を計量機出入口両側に設け」との記載がありますが、計量機の入口側に信号機を、出口側に遮断機を設ける等、車両の安全を確保したうえで設置個所、数量は事業者提案でよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。

86	発注仕様書 (熱回収施設)	34	第2章 第2節 2. 2-1プラットホーム 4) 構造	構造が「鉄筋コンクリート」となっておりますが、土木建築工事仕様書に記載があるように、臭気が漏れない構造・仕様であれば、構造計画上鉄骨造エリア(床を除く)として計画してもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
87	発注仕様書 (熱回収施設)	34	第2章 第2節 2. 2-1プラットホーム 5) (1) 幅員	幅員は有効20m以上とのご指示ですが、プラットホーム内での通行、車両の切り返し、およびごみ投入を安全に行うことが可能であれば、20m未満の幅を事業者から提案させていただいてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
88	発注仕様書 (熱回収施設)	34	第2章 第2節 2. 2-2プラットホーム出入口扉 3) (2)材質	プラットホーム出入口扉の材質は事業者提案との理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
89	発注仕様書 (熱回収施設)	35	第2章 機械設備工事仕様 第2節 受入供給設備 3. ごみ投入扉 〔特記〕(10)	「ごみ投入時、各車両が建築躯体・・・に衝突しないよう」とありますが、対象車両は4tパッカー車と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
90	発注仕様書 (熱回収施設)	35	第2章 機械設備工事仕様 第2節 受入供給設備 3. ダンピングボックス 3) 主要項目	コンベヤ式ダンピングボックスの開閉速度が15s以内とありますが、搬送速度15m/min程度と解釈してよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
91	発注仕様書 (熱回収施設)	35	第2章 第2節 3. ごみ投入扉およびダンピングボックス	ダンピングボックスの付属品として「高速電動シャッター式扉幅 3.0m ×高さ 5.0m SUS製」とのご指示があり、コンベヤ式ダンピングボックス出口に設置するものと考えますが、支障なくごみをピットへ排出できる開口としては高さ2.0mで十分と考えます。維持管理・補修費用削減を考慮して、シャッター式扉の高さを2.0m程度としてよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。

92	発注仕様書 (熱回収施設)	37	第2章 第2節 6. ごみクレーン 2) 数量	数量は「2基(予備バケット1基を含む)」とのご指示ですが、ごみクレーンの数量は2基であり、バケットの数量については予備バケット1基を含め3基との理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
93	発注仕様書 (熱回収施設)	44	第2章 第3節 4. 4-1助燃油貯留槽 1) 形式	助燃油貯留槽の形式は「屋内地上式」とのご指示ですが、助燃油貯留槽の形式は設備上防火対策が容易な「屋外地上式」または「地下タンク式」など事業者の提案としてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
94	発注仕様書 (熱回収施設)	52	第1章 第4節 7. 7-2 サンプリング クーラ 2) 数量	数量は、缶水用・給水用ともに1基/炉とのご指示ですが、脱気器を1基(共通系)とする場合、給水用サンプリングクーラは2炉に対して1基としてもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
95	発注仕様書 (熱回収施設)	55	第2章 第4節 11. 純水装置	形式はイオン交換式を想定されていると思われませんが、同等以上の水質が得られれば他の形式でのご提案も可能でしょうか。	事業者提案を可とします。
96	発注仕様書 (熱回収施設)	55	第2章 第4節 11. 純水装置 3) (5) 原水	原水として「上水」のご指示ですが、上水使用量の削減を目的として、井水を処理した水が純水装置原水として適用可能であれば、井水処理水を原水としてご提案してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
97	発注仕様書 (熱回収施設)	59	第2章 第5節 2. 2-1 ろ過式集じん 器 3) (10) ①ろ布	ろ布の材質は「PTFE」のご指示ですが、性能とライフサイクルコストを考慮し、貴市にメリットがある場合は他の材質でご提案してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
98	発注仕様書 (熱回収施設)	59	第2章 第5節 3. 3-1 HCl、SOx除去 設備 3) (3)、(4)	維持管理費の比較条件を統一するために、入口側のHCl濃度およびSOx濃度(平均および最大)をご指示願います。	処理前の排ガスデータは、草津市 廃棄物処理施設建設室(市役所1階)で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。

99	発注仕様書 (熱回収施設)	60	第2章 機械設備工事仕様 第5節 排ガス処理設備 3. 有害ガス除去設備 3-2 NOx除去設備 5) 付属機器	「(2) 排ガス中の薬剤濃度計」と記載がありますが、排ガス中のアンモニア濃度を測定することと解釈してよろしいでしょうか。	薬剤がアンモニアであれば、お見込みの通りです。
100	発注仕様書 (熱回収施設)	61	第2章 第5節 3. 3-3 NOx除去設備 (無触媒脱硝設備) 4) (4) 排ガス中の 薬剤濃度計	排ガス中の薬剤濃度計は、NOx濃度計と読み替えて、計装制御設備に含むと解釈してよろしいでしょうか。	NOx対策で噴霧する薬剤の未反応分を検出するための濃度計とします。
101	発注仕様書 (熱回収施設)	67	第2章 機械設備工事仕様 第7節 通風設備 1. 押込送風機 3) 主要項目 (5) 風量制御方式	「ダンパ及び回転数制御方式」と記載がありますが、送風機風圧を確保するため「ダンパ開閉制御のみ」とさせて頂いてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします
102	発注仕様書 (熱回収施設)	67	第2章 機械設備工事仕様 第7節 通風設備 2. 二次送風機 3) 主要項目 (5) 風量制御方式	「ダンパ及び回転数制御方式」とありますが、送風機風圧を確保するため「ダンパ開閉制御のみ」とさせて頂いてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします
103	発注仕様書 (熱回収施設)	67	第2章 機械設備工事仕様 第7節 通風設備 3. 空気予熱器	「点検清掃が容易な構造とし、空気取入口を設ける」とありますが、「空気取入口」は誤記であり「点検口」と読み替えることでよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

104	発注仕様書 (熱回収施設)	69	第2章 第7節 6. 誘引送風機 [特記] (4)、(5)	「耐熱設計温度は350℃とすること。」とのご指示ですが、処理フローによってはガス温度は最大でも200℃程度となります。また、「軸受部は原則として水冷式」とのご指示ですが、耐熱温度によっては他の冷却方式も可能となります。耐熱温度および軸受部の冷却方式は事業者の提案としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
105	発注仕様書 (熱回収施設)	70	第2章 第7節 8. 煙突 1) 形式	外筒の形式は、「鉄筋コンクリート、鉄骨+ALC版等」とありますが、周辺との調和が配慮できたものであれば、ALC版に限らず軽量で構造的にも有利な鋼板製の外装材も計画対象としてよろしいでしょうか。なお、外装材によっては外筒の吹付けタイルは使用しないこととなります。	発注仕様書通りとします。
106	発注仕様書 (熱回収施設)	71	第2章 機械設備工事仕様 第8節 灰出し設備 1. 灰搬送装置 1-2 灰押出装置	焼却灰の含水率20～25%にすることを主目的とし、灰押出装置に代わる装置を提案してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
107	発注仕様書 (熱回収施設)	72	第2章 機械設備工事仕様 第8節 灰出し設備 3. 灰出コンベヤ [特記] (2)	「飛じん」とありますが、「粉じん」の解釈でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
108	発注仕様書 (熱回収施設)	73	第2章 機械設備工事仕様 第8節 灰出し設備 5. 灰ピット 5-1-1 灰ピット	「(1)灰バイパスコンベヤ・・・」との記載ですが、「灰出コンベヤ」の誤記と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
109	発注仕様書 (熱回収施設)	73	第2章 第8節 5. 5-1 5-1-1 灰ピット [特記] (1)	「灰バイパスコンベヤシュート下を上限として容量を計画すること。」とのご指示ですが、灰バイパスコンベヤは灰出コンベヤと読み替えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

110	発注仕様書 (熱回収施設)	75	第2章 機械設備工事仕様 第8節 灰出し設備 8. 飛灰処理設備 8-1 飛灰貯留槽	数量と容量について、2基で7日分の容量と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
111	発注仕様書 (熱回収施設)	75	第2章 第8節 8. 8-1 飛灰貯留槽 2)数量	数量2基のご指示ですが、本装置は故障や不具合発生の可能性は低く、1基としても機能上問題はありません。運営期間中の維持補修費低減効果も期待できますので、1基で7日分の容量とさせていただけないでしょうか。	発注仕様書通りとします。
112	発注仕様書 (熱回収施設)	75	第2章 第8節 8. 8-2 定量供給装置 2)数量	飛灰貯留槽を1基とさせていただける場合、定量供給装置についても1基(2方向切り出し)とさせていただけないでしょうか。	発注仕様書通りとします。
113	発注仕様書 (熱回収施設)	75	第2章 第8節 8. 8-4 薬剤添加装置 2)数量	数量が2基とのご指示ですが、薬剤タンクは共通で1基とし、薬剤ポンプは2基という仕様でよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
114	発注仕様書 (熱回収施設)	75	第2章 機械設備工事仕様 第8節 灰出し設備 8. 飛灰処理設備 8-4 薬剤添加装置	数量が2基ですが、構成機器の内、ポンプを2基(内1基予備)設けることでよろしいでしょうか。また、機器の構成は、希釈水タンクを省略するなど、安全・安定を主に合理的なシステムを提案してもよろしいでしょうか。	数量の2基については、発注仕様書の通りとします。主要機器については、事業者提案を可とします。
115	発注仕様書 (熱回収施設)	76	第2章 第8節 8. 8-5 処理物搬送コンベヤ 2)数量	数量が2基とのご指示ですが、本装置は低速のベルトコンベヤであり故障の可能性は小さく、また故障が生じた場合でも飛灰貯留槽の容量が7日分あるため貯留槽に飛灰を貯留しながら修理が可能であり、炉停止に至る可能性は低いため、1基としてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
116	発注仕様書 (熱回収施設)	76	第2章 第8節 8. 8-7環境集じん設備	本装置は機能上、第13節5. 炉内清掃時用ろ過式集じん機と兼用しても一切支障ないので、日常の運転管理、保守の負担軽減および定期整備費の削減のため、必要な容量を確保したうえで両者を兼用してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。

117	発注仕様書 (熱回収施設)	80	第2章 第9節 6. 井水利用設備	既存する深井戸を利用する計画を検討するにあたり、既存井戸ポンプ等具体的な仕様等が分かる資料をご提示願えないでしょうか。	井戸仕様：口径300φ、材質FRP、深度106m ポンプ仕様：65BHS767.5(荏原) 口径65mm、400v×7.5kw×0.45m ³ /分×H65m 揚水管：80φ×2.75m×20本
118	発注仕様書 (熱回収施設)	80	第2章 機械設備工事仕様 第9節 給水設備 6. 井水利用設備	井水処理装置を計画するにあたり、井戸水の水質をご教示願います。	水質検査結果がありませんので、必要に応じて、事業者で水質検査を実施するものとします。
119	発注仕様書 (熱回収施設)	81	第2章 第10節 1. ごみピット汚水	本事業の計画ごみ質は比較的高く、ごみ中の水分も少ないため、ごみピット汚水はほとんど発生しないと予想されますので、ごみピット汚水を焼却炉内に噴霧する代わりに、ふたたびごみピットに戻してごみに浸透させて処理する方法をご提案してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
120	発注仕様書 (熱回収施設)	86	第2章 第11節 電気設備	「既存施設等の受電設備を含む」とありますが、既存施設の設備容量は添付資料6:既存施設配置図の注1に記載の容量のみとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
121	発注仕様書 (熱回収施設)	86	第2章 第11節 電気設備	「既存施設等の受電設備を含む」とありますが、契約電力削減の検討に必要なため、既存施設の季節、曜日、時間帯等各種条件ごとの消費電力をご提示願います。	季節的な変動は、あまりなく、月曜から金曜日の8:00～12:00と13:00～16:45に稼働しています。平均消費電力は60kw程度で、ピーク電力は、圧縮工程の数分間で100kw程度です。その他の時間帯は、保安電力の数kwです。年間の消費電力量は、約120,000kwhです。
122	発注仕様書 (熱回収施設)	87	第2章 機械設備工事仕様 第11節 電気設備 2. 受変電設備	電力会社との財産・責任分界点用としてガス絶縁開閉装置(22kV PAS)を構内第一柱に設置、特別高圧受電盤を受変電室に設置すると解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
123	発注仕様書 (熱回収施設)	87	第2章 機械設備工事仕様 第11節 電気設備 2. 受変電設備 5) 高圧変圧器	トップランナー制度の対象機器については、超高効率タイプとすると記載があります。トップランナー変圧器の第二次判断基準に対応した製品(2014年適合品)と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

124	発注仕様書 (熱回収施設)	88	第2章 機械設備 工事仕様 第11節 電気設備 2. 受変電設備 5) 高圧変圧器 (3) 照明等用変圧器	照明等用変圧器の②電圧で三相三線と記載されていますが、単相三線(200-100V)を採用してもよろしいでしょうか。	三相三線を改め、単相三線とします。
125	発注仕様書 (熱回収施設)	88	第2章 第11節 3 1) 電力監視盤	中央制御室における電力監視は、電力監視システムの単純化による監視・操作の容易性向上、またDCS液晶ディスプレイでの監視操作に集約することによる中央制御室全体のデザイン性、居住性の向上を図るため、第12節計装制御設備の分散型DCSの液晶ディスプレイにて行うものとし、受電保護用各継電器は高圧受電盤、高圧配電盤等に設置する(自立盤として電力監視盤は設置しない)方式を採用してよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
126	発注仕様書 (熱回収施設)	89	第2章 機械設備 工事仕様 第11節 電気設備 4. 非常用電源設備 1) 非常用発電設備 (1) 原動機	非常用発電機に都市ガスを採用する場合、都市ガスは中圧、13Aを想定していますが、引込点での圧力をご教示願います。	事業者で関係機関に確認のうえ計画をするものとし ます。
127	発注仕様書 (熱回収施設)	90	第2章 機械設備 工事仕様 第11節 電気設備 7. 直流電源設備 1) 蓄電池形式	蓄電池の形式はシール型焼結式アルカリ蓄電池と記載されていますが、使用実績の豊富な長寿命タイプ制御弁式据置鉛蓄電池(長寿命MSE)を採用してよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
128	発注仕様書 (熱回収施設)	90	第2章 機械設備 工事仕様 第11節 電気設備 8. 無停電電源設備 1) 蓄電池形式と容量	蓄電池の形式はシール型焼結式アルカリ蓄電池と記載されていますが、使用実績の豊富な長寿命タイプ制御弁式据置鉛蓄電池(長寿命MSE)を採用してよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。

129	発注仕様書 (熱回収施設)	91	第2章 第11節 11 2) 発電機監視盤	中央制御室における発電機の操作監視は、発電機監視システムの単純化による監視・操作の容易性向上、またDCS液晶ディスプレイでの監視操作に集約することによる中央制御室全体のデザイン性、居住性の向上を図るため、第12節計装制御設備の分散型DCSの液晶ディスプレイにて行うものとし、発電機保護用各継電器は発電機遮断器盤、励磁装置盤等に設置する（自立盤として発電機監視盤は設置しない）方式を採用してよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
130	発注仕様書 (熱回収施設)	93	第2章 第11節 12. 電気配線工事 2) 配管・ケーブルラック・レースウェイ工事・配線ダクト工事 (16)	「屋外の盤、配管、機器類は重耐塩構造とすること」とありますが、塩害地域では無いため必要ないものと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
131	発注仕様書 (熱回収施設)	93	第2章 機械設備 工事仕様 第11節 電気設備 12. 電気配線工事 2) 配管・ケーブルラック・レースウェイ工事・配線ダクト工事	(16)項、屋外の盤、配管、機器類は重耐塩構造とすることと記載されています。一方(8)項で、屋外の使用材料は溶融亜鉛メッキ及びSUSを標準とすることとあります。重耐塩構造とする対象をご教示願います。	重耐塩構造は不要とします。
132	発注仕様書 (熱回収施設)	94	第2章 機械設備 工事仕様 第12節 計装制御設備 3. 計装盤 2) 数量	計装盤にバックアップ計器を設置と記載されています。下記の計器を計画していますがよろしいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2号炉炉内圧力 ・ 1, 2号炉ドラム水位 ・ 1, 2号炉ボイラ給水流量 ・ 1, 2号炉ボイラ主蒸気圧力 ・ 脱気器水位 ・ 脱気器圧力 ・ 高圧蒸気だめ圧力 ・ タービンバイパス蒸気温度 ・ 蒸気復水器入口圧力 	設計協議によります。

133	発注仕様書 (熱回収施設)	94	第2章 第12節 3. 計装盤	中央制御室全体のデザイン性、居住性の向上を図るため、LCD (50インチ2台) を壁付、バックアップ計器・ITV警報表示器等は補助オペレータコンソール等に取り付けることにより、垂直自立型の計器盤を設置しない提案をさせていただいてよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
134	発注仕様書 (熱回収施設)	94	第2章 機械設備工事仕様 第12節 計装制御設備 3. 計装盤	「・・・とLCD (50インチ2台) や・・・」との記載ですが、50インチLCDはオペレータコンソール設置は大きすぎます。50インチLCDの使用目的をご教示願います。	垂直自立盤内のモニター画面として使用するものとします。
135	発注仕様書 (熱回収施設)	102	第2章 第12節 8. 計装用空気圧縮機	空気圧縮機は台数に応じたメンテナンスコストが必要となるため、機能上問題がなければ、機器点数を削減しメンテナンスコストを圧縮することを目的として、本装置を雑用空気圧縮機と兼用し、計装用空気仕様に合致した性状を確保する設備を後段に設けることとしてもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
136	発注仕様書 (熱回収施設)	103	第2章 第13節 3. 真空掃除装置	中央集中型の真空掃除装置は、誤って異物を吸引して配管が詰まって閉塞した場合、復旧に非常に手間がかかる場合があります。メンテナンス性を考慮して、必要箇所に必要な台数の業務用可搬式掃除機を設置することとさせていただけないでしょうか。	事業者提案を可とします。
137	発注仕様書 (熱回収施設)	107	第2章 機械設備工事仕様 第13節 雑設備 6. 工具類 (1) 工具リスト	「校正試験機」とありますが、校正対象装置をご教示願います。	日常の運転・維持管理において必要となるものについて、事業者提案とします。
138	発注仕様書 (熱回収施設)	107	第2章 機械設備工事仕様 第13節 雑設備 6. 工具類 (1) 工具リスト	「無線機」とありますが、仕様（出力等）をご教示ください。 能力により、資格・届が必要な場合は市様所掌と理解してよろしいでしょうか。	PHS、10台とします。

139	発注仕様書 (熱回収施設)	108	第2章 機械設備工事仕様 第13節 雑設備 8. 説明用調度品 8-1 説明用プラントフローシート	説明用プラントフローシートの数量が3基ですが、設置予定場所をご教示願います。	設計時の協議とします。
140	発注仕様書 (熱回収施設)	109	第2章 機械設備工事仕様 第13節 雑設備 9. 予備ボイラー	給湯設備に電気式を採用した場合、予備ボイラーの設置は不要になります。 予備ボイラーの用途を理解し、設置要否は請負者の判断でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
141	発注仕様書 (リサイクルセンター)	2	第1章 総則 第1節 計画概要 7. 立地条件 4) 敷地周辺設備 (1) 電気	電気は熱回収施設の高圧配電盤二次側より引き込むとありますが、リサイクルセンターの設備内容によっては、低圧配電盤からの引き込みでもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
142	発注仕様書 (リサイクルセンター)	2	第1章 第1節 7. 4) 敷地周辺設備 (3) 排水	「排水は処理後、循環再使用」とのご指示ですが、機器点数の削減や運転管理の容易性、維持補修費の低減を考慮して、リサイクルセンター単独の排水処理設備を設けるのではなく熱回収施設の排水処理設備にて処理し再使用することとしてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
143	発注仕様書 (リサイクルセンター)	3	第1章 第2節 1. 2) 計画ごみ質	可燃性粗大ごみ・不燃性粗大ごみ・破碎ごみの最大寸法として「2mW×2mH×1mL」のご指定がありますが、本寸法は、可燃性粗大ごみ・不燃性粗大ごみ・破碎ごみの全てのごみ種に適用されるとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
144	発注仕様書 (リサイクルセンター)	4	第1章 総則 第2節 計画主要目 2. 破碎機基数	各破碎機的能力指定がありませんが、日処理量から請負者提案でよろしいでしょうか。 (条件統一からも能力指定されるのが望ましいです)	事業者提案とします。

145	発注仕様書 (リサイクルセンター)	5	第1章 第2節 3. 5) 陶器・ガラス類	搬出に関しては、「搬出物ストックヤードに貯留し、搬出」とありますが、最終的には不燃物共々、処分場への搬出となるものと認識しています。その場合、陶器・ガラス類は不燃貯留ヤードへの貯留も可能と考えますので、搬出物ストックヤード設置の可否は事業者提案としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
146	発注仕様書 (リサイクルセンター)	9	第1章 総則 第5節 試運転及び指導期間 1. 試運転	1)項に「・・受電後の単体機器調整、空運転、負荷運転、性能試験、性能試験結果確認を含めて【125】日間とする。」と記載があり、同規模他施設に比べ長期間ですが、必要・十分な試運転計画によって125日未満で完了してもよろしいでしょうか。	設計時の協議とします。
147	発注仕様書 (リサイクルセンター)	10 ～ 11	第1章 総則 第6節 性能保証 1. 引渡性能試験	性能試験方法の参考が一覧表に記載されていますが、空白項目をご教示願います。	設計時の協議とします。
148	発注仕様書 (リサイクルセンター)	20	第2章 第3節 2. 供給コンベヤ (可燃性粗大ごみ)	配置上、安全性や機能を損ねることなく、受入ホッパからせん断式破砕機に直接供給可能であれば、本コンベヤの可否は事業者提案としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
149	発注仕様書 (リサイクルセンター)	20	第2章 機械設備工事仕様 第3節 粗大ごみ・破砕ごみ処理系列 3. せん断式破砕機	せん断式破砕機は、切断型の機器仕様を記載されていますが、配置・運用上メリットがある場合は、二軸式破砕機を採用してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
150	発注仕様書 (リサイクルセンター)	22	第2章 第3節 8. 低速回転式破砕機	[特記] (3)項で、スプリングマットレスの処理についての記載がありますが、スプリングマットレスの処理量は、特に定期補修費に大きく影響を与えるため、想定される処理量をご教示願います。	想定する処理数は、年間500点程度とします。 H25年度実績486点、H24年度実績474点

151	発注仕様書 (リサイクルセンター)	23	第2章 機械設備工事仕様 第3節 粗大ごみ・ 破碎ごみ処理系列 12. 低速回転式破 碎機及び高速回転 式破碎機防爆用送 風機	堅型高速回転式破碎機の場合、破碎機の構造上、本体 出口より強制的に排気され、希釈機能を有しています ので、専用の防爆送風機は不要と判断してよろしいで しょうか。	発注仕様書通りとします。
152	発注仕様書 (リサイクルセンター)	27	第2章 機械設備工事仕様 第3節 粗大ごみ・ 破碎ごみ処理系列 26. 鉄類貯留ヤ ード	形式が「溶接鋼板製」とありますが、誤記であり請負 者提案と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
153	発注仕様書 (リサイクルセンター)	28	第2章 機械設備工事仕様 第3節 粗大ごみ・ 破碎ごみ処理系列 26. アルミ貯留 ヤード	形式が「溶接鋼板製」とありますが、誤記であり請負 者提案と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
154	発注仕様書 (リサイクルセンター)	29	第2章 機械設備工事仕様 第4節 びん類処理 系列 2. コンテナ搬送コ ンベヤ	コンテナサイズをご教示下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・外寸 (長辺：短辺：高さ＝708mm：500mm：400mm) ・材質 PP ・ハンドル付き
155	発注仕様書 (リサイクルセンター)	29	第2章 第4節 びん類処理 系列	びん類のコンテナ寸法をご教示願います。	<ul style="list-style-type: none"> ・外寸 (長辺：短辺：高さ＝708mm：500mm：400mm) ・材質 PP ・ハンドル付き
156	発注仕様書 (リサイクルセンター)	34	第2章 第5節 8. スチール缶圧縮機 9. アルミ缶圧縮機	機能・性能上、支障がない場合、両圧縮機を1台に集 約してもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。

157	発注仕様書 (リサイクルセンター)	36	第2章 機械設備工事仕様 第6節 陶器・ガラス類処理系列 3. 硬質用破砕機 3) 主要項目 (3) 破砕粒度	破砕粒度のサイズによって、機器仕様及び機器構成に影響を及ぼしますので、破砕粒度 (mm以下) をご教示下さい。	事業者提案とします。
158	発注仕様書 (リサイクルセンター)	39	第2章 第5節 4. 排風機 6. 脱臭用排風機	機能・性能上、支障がない場合、両排風機を1台に集約してもよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
159	発注仕様書 (リサイクルセンター)	39	第2章 機械設備工事仕様 第7節 集じん・脱臭設備 6. 脱臭用排風機	脱臭用排風機は、4. 排風機と兼用してよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
160	発注仕様書 (リサイクルセンター)	40	第2章 機械設備工事仕様 第8節 給水設備	給水設備 (水槽・ポンプ類) は、熱回収施設と兼用可能と解釈してよろしいでしょうか。 P. 2では熱回収施設より分岐使用とあります。	お見込みの通りです。
161	発注仕様書 (リサイクルセンター)	40	第2章 第8節 3. 水槽類仕様	生活用受水槽・プラント用水受水槽・機器冷却水受水槽・再利用水受水槽は、熱回収施設と兼用としてもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
162	発注仕様書 (リサイクルセンター)	43	第2章 機械設備工事仕様 第9節 排水処理設備	排水処理設備 (水槽・ポンプ類) は、熱回収施設と兼用可能と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
163	発注仕様書 (リサイクルセンター)	44	第2章 機械設備工事仕様 第10節 電気設備	受電方式に6,600Vとありますが、リサイクルセンター設備内容によっては、440V受電としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。

164	発注仕様書 (リサイクルセンター)	44	第2章 第10節 1. 電気方式	熱回収施設より交流6,600Vでの受電となっておりますが、リサイクルセンターのプラント動力に高圧動力がない場合、熱回収施設からの配電電圧を6,600Vではなく、低圧配電としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
165	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 1. 雑用空気圧縮機	雑用空気圧縮機は熱回収施設と兼用してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
166	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 第12節 1. 雑用空気圧縮機	雑用空気圧縮機は、必要な容量を確保したうえで、熱回収施設と兼用としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
167	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 2. スプレー缶等の設置場所確保	「装置の排気ダクト・・・設置すること」とありますが、粉碎処理装置の設置場所を確保するだけでなく、粉碎機・排風機が必要なのでしょうか。	粉碎機、排風機は必要なく、電源とダクトのみを設置するものとします。
168	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 2. スプレー缶等の設置場所確保	設置場所は、作業の安全性を考慮し、屋外と解釈してよろしいでしょうか。	屋内とし場所は、事業者提案とします。
169	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 2. スプレー缶等の設置場所確保	「スペース内に給排水、電源・・・を確保のこと」とありますが、排水は排水溝の他に必要なものをご教示願います。	ありません。

170	発注仕様書 (リサイクルセンター)	51	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 2. スプレー缶等の設置場所確保	「装置の排気ガス用ダクト300φを燃焼空気の一部として利用できるよう設置すること」とありますが、通常、当該機器の排気ガスは屋外排気しています。何用の燃焼空気の一部に利用するのかご教示願います。	焼却炉の燃焼空気の一部とします。
171	発注仕様書 (リサイクルセンター)	52	第2章 機械設備工事仕様 第12節 雑設備 6. 説明用映写設備	説明用映写設備は熱回収施設と兼用と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
172	発注仕様書 (リサイクルセンター)	52	第2章 第12節 8. 作業用重機	重機のうち、ショベルローダおよび解体用フォークについては、発注仕様書(熱回収施設) P.110 12. 作業用重機にも同様の記載があります。プラットホームを熱回収施設と兼用するなどにより運用上支障がない場合、熱回収施設と兼用としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
173	発注仕様書 (土木建築工事)	2	第3章 第1節 1. 3) 仮設計画	「仮設事務所(既設のグランド管理事務所の活用でも可とする。)」とありますが、工事計画を行うに当たり、同管理事務所の配置等が分かる資料をご提示願います。	公告時の「添付資料6: 既存施設配置図」を参照してください。
174	発注仕様書 (土木建築工事)	2	第3章 第1節 1. 3) 仮設計画	「発注者監督員用仮設事務所(面積は…(中略))を必要な什器を含め設置すること。」とありますが、必要な什器が具体的にありましたらご教示願います。	事業者提案とします。
175	発注仕様書 (土木建築工事)	3	第3章 第1節 2. 1) 一般事項 (19)	「耐震安全性の目標は、官庁施設の総合耐震計画基準によるⅡ類(構造体)、A類(建築非構造体)、乙類(建築設備)とする」とあり、構造体がⅡ類とありますが、二次設計においては上部構造の地上階のみとし、地下階において保有水平耐力の確保は不要と考えるよろしいでしょうか。	二次設計では、上部構造の地上階のみではなく、地下階においても、保有水平耐力の確保は必要とします。

176	発注仕様書 (土木建築工 事)	5	第3章 第2節 1. 1) (2)効率的維持 管理⑨	小荷物昇降機は、人荷用エレベータと兼用してもよろ しいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
177	発注仕様書 (土木建築工 事)	6	第3章 第2節 1. 1) (4)見学者対応等 ③	「不特定多数の者が利用する部分は、バリアフリー新 法及びだれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条 例の基準に適合するものとし…」とあります。同法律 及び同条例に適合するように計画しますが、認定を取 得するものではないとの理解でよろしいでしょうか。 また、計画範囲は見学者の入るエリアに限定すること として計画してもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
178	発注仕様書 (土木建築工 事)	8	第3章 第2節 1. 2) (3)中央制御室 ⑪	「ボイラー補給水、(中略)を計測するための個室を設 けること」とありますが、10頁の(15)③に記載の分析 室と同じものを示すとの理解でよろしいでしょうか。	別の用途ですが、兼用でも可とします。
179	発注仕様書 (土木建築工 事)	9	第3章 第2節 1. 2) (4)集じん機・有 害ガス除去設備室 ③	「補修時の防じん対策に考慮すること」とありませ が、この補修時とはプラント機器オーバーホール時の 防じん対策との理解でよろしいでしょうか。	集じん機や有害ガス除去設備の補修時の防じん対策で す。
180	発注仕様書 (土木建築工 事)	9	第3章 第2節 1. 2) (4)集じん機・有 害ガス除去設備室 ②	「床は防水構造(ウレタン塗膜防水)」とのご指示で すが、階下に他の室がない場合等は、防水構造は不要 としてもよろしいでしょうか。	有害物質の拡散を防ぐため、発注仕様書通りとしま す。
181	発注仕様書 (土木建築工 事)	9	第3章 第2節 1. 2) (4)集じん機・有 害ガス除去設備室 ②	「床は防水構造(ウレタン塗膜防水)」とのご指示で すが、添付資料8:内部仕上げ表では排ガス処理設備 室は「無機質浸透性硬化剤塗布 一部防食性塗装」と あります。床の防水については事業者の提案によるも のとしてよろしいでしょうか。	有害物質の拡散を防ぐため、発注仕様書通り「ウレタ ン塗膜防水」とします。
182	発注仕様書 (土木建築工 事)	9 14	第3章 第2節 1. 2) (3)中央制御室 4) (2)事務室	「地中熱を利用した空気調和システムの採用を検討の こと」とありますが、部分的な採用と解釈してよろし いでしょうか。	お見込みの通りです。

183	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (13) 運転員関係 諸室	「以下の運転員用の各室を必要に応じ計画すること」 とのご指示ですが、本事業に施設竣工後の運営は含ま れていないため、必要性を判断できません。すべて必 要であるとの前提で計画すればよろしいでしょうか。	運営・維持管理を外部委託した場合を想定し、全て必 要な諸室として計画をするものとします。
184	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (13) 運転員関係 諸室	運転員事務室は、14頁に記載の運営委託職員・ボラン ティア用事務室とは別のものであり、工場棟内に設置 するとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
185	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (14) 作業員関係 諸室	保守点検業務従事者とは、運営委託業者に所属する保 守点検担当者を示すのでしょうか。それとも、年次定 期整備の当該年度の受注者に属する保守点検担当者を 示すのでしょうか。	後者とします。
186	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (15) その他 ⑫	「施設内の床（床面が各階層に及ぶ場合は各階層） は、防水加工を施し、散水による清掃ができるように すること」とありますが、階下に他の室がない場合や 散水による清掃が想定されない室(電気関係諸室や居 室、見学者通路、水洗を実施しない機械室等)につい ては防水加工不要とさせていただいてよろしいでしょ うか。	発注仕様書通りとします。
187	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1.2) (15)その他 ⑮	浴室(40㎡程度)および更衣室(50㎡程度)は、男女別の 室を合わせた面積との理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
188	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (15)その他	浴室(40㎡程度)とありますが、シャワーのみとし、浴 槽は不要と考えてよろしいでしょうか。	数名程度の浴槽を含むものとします。
189	発注仕様書 (土木建築工 事)	10	第3章 第2節 1. 2) (15) その他 ⑮	洗濯・乾燥機室は、男女別に分ける必要はないとの理 解でよろしいでしょうか。	男女別に分けるものとします。
190	発注仕様書 (土木建築工 事)	12	第3章 第2節 1. 2) (3) 選別設備室 ⑥	「将来、手選別に変更となった場合を想定した計画と すること。」とありますが、具体的にどのような変更 を想定されているのかご教示願います。(例えば、可 燃物中からの非鉄金属類の抽出など。)	例示の通りです。

191	発注仕様書 (土木建築工 事)	13	第3章 第2節 1. 4)管理啓発棟平面 計画	啓発エリアと事務室エリアを同一階に計画してよろし いでしょうか。	事業者提案を可とします。
192	発注仕様書 (土木建築工 事)	13	第3章 第2節 1. 4)管理啓発棟平面 計画 (1)多目的室 ②	多目的室(見学者説明室)200㎡程度には倉庫・物品庫の 室面積も含まれるとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
193	発注仕様書 (土木建築工 事)	13	第3章 第2節 1. 3) (14) その他 ④	見学場所として「破碎設備室」が挙げられていますが 、p11にて破碎設備室は無窓の鉄筋コンクリート造 とのご指示のため、見学場所から除外してもよろしい でしょうか。	破碎設備室は見学場所から除外します。
194	発注仕様書 (土木建築工 事)	13	第3章第2節 1 3) (14)その他 ⑥	「施設内の床(床面が各階層に及ぶ場合は各階層) は、防水加工を施し、散水による清掃ができるように すること」とありますが、階下に他の室がない場合や 散水による清掃が想定されない室(電気関係諸室や居 室、見学者通路、水洗を実施しない機械室等)につい ては防水加工不要とさせていただいてよろしいでしょ うか。	発注仕様書通りとします。
195	発注仕様書 (土木建築工 事)	13	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画	「事業者が利用する事務室、(中略)については・・・」 とありますが、これらの諸室を管理・啓発棟に設置す るか、工場棟内に設置するかは事業者の提案としても よろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
196	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (2) 事務室	倉庫、パソコン・サーバー室、打ち合わせコーナー及 びコピー機コーナーは、事務室(100㎡)に含まれるも のとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
197	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (2) 事務室	「事務室は来場者の把握が容易にできる位置に計画す ること」とのご指示ですが、配置上難しい場合は、目 視での把握に代えてカメラによる把握としてもよろし いでしょうか。	事業者提案を可とします。

198	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (2) 事務室 ⑤	運営委託職員・ボランティア用事務室には更衣コー ナー・湯沸室等が単独で必要でしょうか。	必要とします。
199	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (3) 玄関	事務室エリア、見学者エリアは下足での利用を想定 し、下駄箱の整備は不要と考えてよろしいでしょ うか。	お見込みの通りです。
200	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) そ の他 ②	屋外に設置のフリマスペースについて、どの程度の規 模（出店店舗数、参加者人数、必要面積等）を想定し ているかご教授願います。また、来客用駐車場をフリ マ開催時に一時的にフリマスペースとして利用するこ とは可能でしょうか（来客用駐車場が不足した場合 は、一時的に従業員用駐車場を開放する等にて対 応）。	フリマスペースは、50店舗程度、参加者1,000名程 度、必要面積は、約1,000㎡を想定。来客用駐車ス ペースについては、従業員用駐車場以外に場内の周回 道路も開放することを考えています。
201	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) そ の他 ②および④	②に記載の会議室と④に記載の会議室は同じものを示 すとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
202	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) その他 ③④	応接室及び会議室は事務室の近傍への配置が必要と考 えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
203	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) そ の他 ⑥	更衣室(30㎡)は男女合わせての面積との理解でよろし いでしょうか。	お見込みの通りです。
204	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) その他 ⑥	更衣室の想定男女比をご教示願います。	設計協議とします。

205	発注仕様書 (土木建築工 事)	14	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5)その他 ⑦	休憩室(20㎡程度)を10㎡毎に間仕切り壁で区切り利用すると考えてよろしいでしょうか。また、その場合廊下からの出入口扉はそれぞれに必要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
206	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) そ の他 ⑧	ここに記載の通用口は、14頁に記載の「(3) 玄関」と同じとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
207	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5)その他 ⑨	トイレ内衛生陶器について、15頁では温水洗浄便座付と記載されていますが、他ページ(10頁、13頁)のトイレについては温水洗浄便座の記載がありません。記載箇所のみ温水洗浄便座を設置するものと理解してよろしいでしょうか。	全ての洋式大便器、多目的便所で、温水洗浄便座とします。
208	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5)その他 ⑮	「すべての部屋を無線LANで接続すること」と記載されていますが、電気設備概要での記載はありません。無線LAN設備については別途工事と解釈してよろしいでしょうか。本工事の場合、具体的な仕様、数量をご提示願います。	本工事内での施工とします。具体的な仕様については、設計協議とします。
209	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5)その他 ⑰	「各部屋には、必要な什器類等を配置する」とありますが、必要な什器が具体的にありましたらご教授願います。	事業者提案とします。
210	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章 第2節 1. 4) 管理・啓発棟 平面計画 (5) そ の他 ⑲	本項の更衣室は、14頁の⑥に記載の更衣室と同じものとの理解でよろしいでしょうか。	本項の更衣室は、P14の運転員作業員50名用の更衣室とは別で、職員用20名程度の規模を想定しています。

211	発注仕様書 (土木建築工 事)	15	第3章土木建築工 事仕様 第2節建築工事 1. 全体計画 4) 管理・啓発棟平 面計画 (5) その他 ⑯	「扉は引き戸方式を採用すること。」とありますが、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」における、公益的施設と特定施設の規定より、工場施設では見学エリアが整備対象に該当するものと解釈できると考えられます。扉の引き戸方式の採用範囲は、主に見学者が利用する室の出入口として、それ以外の扉については、室用途や使用目的により、提案できるものと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
212	発注仕様書 (土木建築工 事)	17	第3章 第2節 2. 2) 基礎構造 (4)	「残土は原則として場内式均し（50cmまで）とする。…」とありますが、既設及び周辺敷地状況からのご指示でしょうか。または、市条例等からのご指示、もしくは都市計画法29条開発行為に該当しないためのご指示でしょうか。	都市計画上第29条開発行為に該当しないための指示です。
213	発注仕様書 (土木建築工 事)	17	第3章 第2節 2. 2) 基礎構造 (4)	「残土は原則として場内敷均し（50cmまで）とする」とありますが、外構計画上の舗装仕上がり高さは敷均し天端から必要な構造を確保するものと考えてもよろしいでしょうか。	舗装仕上がり高さも含めて、50cmまでとします。
214	発注仕様書 (土木建築工 事)	18	第3章 第2節 2. 4) 一般構造 (2) 外壁 ①	「構造耐力上重要な部分および遮音性能が要求される部分は、原則として鉄筋コンクリート造」とありますが、その他の外壁材について指定はなく、提案によるものとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
215	発注仕様書 (土木建築工 事)	18	第3章 第2節 2. 4) 一般構造 (2) 外壁 ③	「水密性のあるコンクリート」とは現場打設コンクリートの水セメント比が50%以下と考えてよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。
216	発注仕様書 (土木建築工 事)	18	第3章 第2節 2. 4) 一般構造 (1) 屋根 ④	「防水はガルバリウム鋼板折板葺き、ALCの上、塗布防水…とする」とありますが、屋根材にALCを計画した場合、塗布防水では防水性能を満足しないため、シート防水としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。

217	発注仕様書 (土木建築工 事)	18	第3章 第2節 2. 4) 一般構造 (2) 外壁 ③	「外壁は浸水、漏水のおそれのない構造とし…」とありますが、地上階にて構造計画上鉄骨造となる部分については漏水等に配慮したうえでALC版や鋼板を使用した計画としてもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
218	発注仕様書 (土木建築工 事)	19	第3章 第2節 2. 4) 一般構造 (7) 建具・金属類 ⑧	「建具（扉）のうち、シャッター若しくはオーバースライダーはステンレス製とし…」とありますが、ステンレス同等の耐久性があればスチール製の上塗装として計画してもよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
219	発注仕様書 (土木建築工 事)	20	第3章 第2節 2. 5) 構造計算 (2)	「ただし、駐輪場などの軽微な建築物は除くものとする」とありますが、軽微な建築物とは、熱回収施設棟及びリサイクル棟以外のすべての付属棟との理解でよろしいでしょうか。	熱回収施設棟、リサイクル棟、管理棟、啓発棟、ストックヤード棟以外の軽微な付属棟とします。
220	発注仕様書 (土木建築工 事)	20	第3章 第2節 2. 5) 構造計算 (2)	重要度係数1.25は一次設計および二次設計にも適用されるのでしょうか。重要度係数1.25は上部構造（地上階）のみ適用と考え、熱回収棟・リサイクル棟・管理棟への適用と考えてよろしいでしょうか。	適用されるのは、熱回収施設棟、リサイクル棟、管理棟、啓発棟、ストックヤード棟とします。
221	発注仕様書 (土木建築工 事)	22	第3章土木建築工 事仕様 第2節建築工事 4. 建築仕様 1) 熱回収棟、リサ イクル棟及び管理 棟 (4) 共通事項 ③	③鉄骨部分は、原則として、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。とありますが、一方21ページ4)鉄骨塗装には、鉄骨塗装は、地下部分も含め、周辺の状況に応じて材料及び工法を定める。とあります。原則として、溶融亜鉛メッキ仕上げとする部分は屋外鉄骨と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
222	発注仕様書 (土木建築工 事)	22	第3章 第2節 4. 1) 熱回収棟、リ サイクル棟及び管 理棟 (4) 共通事項 ③	「鉄骨部分は、原則として、溶融亜鉛メッキ仕上げとする」とありますが、21頁の3. 仕上計画 4)鉄骨塗装には「周辺の状況に応じて、材料及び工法を定める」とあります。基本的に溶融亜鉛メッキを使用する箇所は、建築鉄骨が屋外に露出する部分のみと判断してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

223	発注仕様書 (土木建築工 事)	22	第3章 第2節 4. 1) (4) 共通事項 ⑤	屋根全面にソーラーパネルの荷重を見込む必要がある のでしょうか。(熱回収棟、リサイクル棟、管理棟) また、1㎡当り何ニュートンの荷重を見込めばよい か、ご教示願います。	事業者提案とします。
224	発注仕様書 (土木建築工 事)	23	第3章 第2節 4. 5) 駐輪場 (3) 室内仕上	「内装には、天井、壁の下地及び仕上げ材として、不 燃材を用いること」とありますが、壁のない駐輪場と して計画を行っても宜しいでしょうか。	事業者提案を可とします。
225	発注仕様書 (土木建築工 事)	24	第3章 第3節 1. 2) その他	「排水処理量、再利用量及び各種法規制等を考慮し、 必要に応じて、沈殿池、沈砂池及び雨水調整池等を設 けること。」とありますが、検討にあたり、開発区域 の流末排水河川の流下能力、接続箇所及び既設工事範 囲外の状況・対応の要否についてご教授願います。	環境影響評価書P26 3-3-7 雨水排水計画、P512 8- 6水質 表8-6-1を考慮して計画をすること。
226	発注仕様書 (土木建築工 事)	24	第3章 第3節 2. 3) 植栽芝張工事	「必要に応じ各所に散水栓を設置すること」とありま すが、自動灌水設備は不要と考えてよろしいでしょ うか。	事業者提案とします。
227	発注仕様書 (土木建築工 事)	24	第3章 第3節 2. 1) 構内道路及び駐 車場 (8)	「駐車場は、管理・啓発施設棟付近に設ける」との ご指示ですが、計画台数が多いため、全台数を管理・啓 発棟付近に設けることは困難ですので、駐車車両の種 別を考慮したうえで、駐車場の一部を管理・啓発棟付 近に設置し、残りは敷地内に確保する計画としてよろ しいでしょうか。	事業者提案とします。
228	発注仕様書 (土木建築工 事)	26	第3章 第3節 3. 8) 進入口	「市道から既設のグラウンドへの進入口に架かる橋は撤 去し、新たな進入路のための橋を設置する。これに伴 う関係機関への各種申請手続きや費用も本工事に含 む」とありますが、撤去予定となる橋の詳細が分かる 資料をご提示願います。また、市道と計画地の間にあ る水路等の所管部門との事前協議は完了しているもの と考えて実現できるものとして計画してもよろしいで しょうか。	橋の詳細が分かる資料はありません。 また、所管部門との調整も事業者で行うものとしま す。

229	発注仕様書 (土木建築工 事)	26	第3章 土木建築工 事仕様 第3節 土木工事及 び外構工事 3. 土木工事及び外 構工事仕様 8) 進入口	進入口に架かる橋は撤去し新設するとありますが、計 画敷地外の工事となります。 請負者がすべき手続き等の詳細内容をご教示願いま す。	事業者において、所管部門と協議のうえ、必要な手続 きを行うものとします。
230	発注仕様書 (土木建築工 事)	26	第3章土木建築工 事仕様 第3節土木工事お よび外構工事 3. 土木工事及び外 構工事仕様 8) 進入口	「市道から既設のグラウンドへの進入口に架から橋は撤 去し、・・・」とあります。見積精度の向上を目的に 撤去する橋の図面をご提供願います。	橋の詳細が分かる資料がありませんので、必要に応じ て現場確認のうえで計画をするものとします。
231	発注仕様書 (土木建築工 事)	26	第3章 土木建築工 事仕様 第3節 土木工事及 び外構工事 3. 土木工事及び 外構工事仕様 9) 堆肥化ヤード	剪定枝粉碎機がありますが、10m ² のヤード内に設置す るものと理解してよろしいでしょうか。	ヤードとは別に設置をするものとします。

232	発注仕様書 (土木建築工事)	26	第3章 土木建築工事仕様 第3節 土木工事及び外構工事 3. 土木工事及び外構工事仕様 10) 既設グラウンド関連施設撤去工事	既設グラウンド関連施設の撤去対象施設（以下のもの）について、概略仕様だけでなく、見積精度の向上を目的に、図面類の提示もしくは貸与をお願いします。 ・防球ネット・防球フェンス ・南側門扉 ・南側進入路及び橋 ・キックボード ・国旗掲揚台 ・砂場 ・築山 ・屋外トイレ（2ヶ所） ・管理棟 ・駐車場 ・電力引込設備 ・夜間照明設備 ・キュービクル ・給排水設備 ・グラウンド暗渠排水設備 上記の地中埋設物も含む	提供可能な資料については、「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
233	発注仕様書 (土木建築工事)	26	第3章 第3節 3. 10) 既設グラウンド関連施設撤去工事	撤去対象となる各施設の詳細が分かる資料をご提示願います。また、「配管、配線等地中設備も撤去」と記載がありますが、各キューティリティ（電気、上水、井水、排水等）の施工ルート図をご提示願います。	既存設備の施工ルート図は、全てはありませんが、提供可能な資料については、「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で、閲覧、貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
234	発注仕様書 (土木建築工事)	26	第3章 第3節 3. 10) 既設グラウンド関連施設撤去工事	撤去工事に「防球ネット、防球フェンス（敷地全周）」とありますが、敷地外周の擁壁は既存のまま利用すると考えてよろしいでしょうか。	強度上支障なければ、必要箇所補修の上、利用を可とします。
235	発注仕様書 (土木建築工事)	27	第3章 第3節 3. 10) 既設グラウンド関連施設撤去工事	キュービクル撤去の記載がありますが、PCB含有は無いものと解釈して宜しいでしょうか。 PCB含有がある場合、撤去・移設・保管・申請手続は別途工事と解釈してよろしいでしょうか。	PCB含有機器は無いと考えていますが、万一PCB含有機器と確認された場合は、市内の専用の施設で保管しますので、保管場所までの運搬のみ工事範囲とします。

236	発注仕様書 (土木建築工 事)	28	第3章 第4節 1. 共通事項 3)	「給水引込負担金、下水道接続負担金、都市ガス引込負担金は、事業者負担とする」とありますが、通常発注者の負担であるものと思われます。電気引込工事に伴う負担金が貴市となっておりますようにこれらについても同様として頂けないでしょうか。	発注仕様書通りとします。
237	発注仕様書 (土木建築工 事)	30	第3章 第4節 2. 2) (3) ダンパ ①	「防煙ダンパ及び防火・防煙ダンパの復帰操作は、原則として、中央制御室で可能なものとする」と記載されていますが、防火ダンパは温度ヒューズによる閉止の為、復帰操作は不可能と思われます。防煙ダンパの復帰操作と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
238	発注仕様書 (土木建築工 事)	31	第3章土木建築工 事 第4節建築機械設 備工事 4. 衛生・給排水設 備 2) 給水設備 (5) 水槽類 ③プラント用受水 槽	「(イ) 水槽は二槽式とし、交互に点検ができるようにする。」とありますが、パネル水槽の場合二槽式にすると解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
239	発注仕様書 (土木建築工 事)	32	第3章 第4節 4. 3) 雨水利用設備	雨水有効利用のための雨水貯留設備 (60㎡程度) は建屋下ピットでの計画等も提案可能と考えてよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
240	発注仕様書 (土木建築工 事)	34	第3章 第4節 4. 4) (5) 排水ポンプ・ 汚水ポンプ	「ポンプは、各2台 (内予備1台) 」とありますが、緊急を要さない床排水用のポンプについては、倉庫予備としてもよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
241	発注仕様書 (土木建築工 事)	35	第3章 第4節 7. 消防設備 1)	「消防当局等と十分協議を行うこと」との記載がありますが、入札前提案段階で消防他諸官庁と事前協議は行ってよいと考えてよろしいでしょうか。	設計段階での協議をします。
242	発注仕様書 (土木建築工 事)	35	第3章 第4節 8. その他	「真空掃除機を設置すること」とありますが、具体的な内容詳細をご指示願います。	事業者提案とします。

243	発注仕様書 (土木建築工 事)	35	第3章 第4節 6. 昇降機設備 3)	「救急用ストレッチャーの利用を想定」とありますが、工場棟炉室に設置する人荷用エレベータについては適用されないと考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
244	発注仕様書 (土木建築工 事)	35	第3章 第4節 7. 消防設備 6)	「防火水槽40 t、3ヶ所を設置すること」とありますが、今回の工事対象となる敷地（既存グラウンド）の面積は約1.9haで防火水槽を設置する条件となる20,000㎡未満であり、消防当局からの指導がない限り、防火水槽の設置の必要がないものと考えます。事業者が受注後に消防当局と協議を行った上で不要と判断された場合は3ヶ所の設置は不要と考えてよろしいでしょうか。	発注仕様書通りとします。 3ヶ所設置については、消防当局と協議済みです。
245	発注仕様書 (土木建築工 事)	35	第3章 土木建築工 事仕様 第4節 建築機械設 備工事 8. その他	「1)真空掃除機を設置すること。」とありますが、熱回収施設p.103の「真空掃除装置」と同じものを示すと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
246	発注仕様書 (土木建築工 事)	40	第3章 第5節 5. 1) 電灯及び照明器 具設備 (8)	「中央制御室にて(中略)すべての照明を一括管理できるようにすること」と記載されていますが、トイレ等の臨時室はセンサーによる点滅、廊下等は保安照明が必要な事より、全ては削除し「必要最低限を除き」に変更可能でしょうか。	「すべて」を削除し、「必要最小限を除き」とします。
247	発注仕様書 (土木建築工 事)	41	第3章 第5節 12. 1) 配管・配線等 (3)	「場内LANを構築すること」と記載されていますが、LAN機器及びケーブル配線については、別途工事と解釈してよろしいでしょうか。	工事範囲内とします。
248	発注仕様書 (土木建築工 事)	42	第3章 第5節 12. 2) 電話交換設備 (6)	「移動電話機（携帯タイプ等）を設置すること。台数については、実施設計時に協議すること」と記載されていますが、携帯電話の不感対策も含めPHSとし、台数の明記を御指示願います。	PHSを10台とします。

249	発注仕様書 (土木建築工 事)	42	第3章 第5節 13. 1)監視	「各設備の運転情報を(中略)オペレータコンソールの液晶モニターにより集中監視する」と記載され、自動火災報知設備、エレベータが含まれています。自動火災報知設備は認定自火報盤、エレベータについて必要であれば運転監視盤を中央制御室に設置します。警報一括表示のみオペレータコンソールに表示としてよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
250	発注仕様書 (土木建築工 事)	42	第3章 第5節 13. 1)監視	建築電気設備の中央監視は、専用コンソール採用により建築電気用の汎用ソフトを活用し、操作性・監視を容易にするため、また分割による故障履歴等の認識性向上を図るため、プラント側とは別に、建築電気設備専用のオペレータコンソールを設ける方式を採用してよろしいでしょうか。	事業者提案を可とします。
251	発注仕様書 添付資料2	-	施設配置計画図 (一例)	本工事における敷地境界線はどの範囲かご教示願います。	事業予定地(約1.9ha)の敷地範囲に加え、既設のプラスチック・ペットボトル処理施設への動線範囲の整備も含むものとします。
252	発注仕様書 添付資料3		地質調査データ	提示頂いた地質調査データから想定されない地中埋設物等が出て設計変更が生じた場合、請負代価の変更が可能と見込んでおりますが宜しいでしょうか?	設計変更、請負代金変更にかかる協議の対象とします。
253	添付資料	3~6	添付資料3-1:地 質調査データ	各ボーリングの孔口標高(どのポイントを基準にし、その基準点からの高さ)をご教示願います。また、地盤調査報告書一式を開示頂くことは可能でしょうか。	「草津市廃棄物処理施設建設室(市役所1階)」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
254	添付資料	-	添付資料6 既存施設配置図	電気設備について、最大消費電力約100kWとの記載がありますが、既存施設の稼働時間帯は一律100kWの消費電力とみなしてよろしいでしょうか。また、既存施設の稼働日はリサイクルセンターの稼働日と同じとし、稼働時間は1日8時間と想定してよろしいでしょうか。	季節的な変動は、あまりなく、月曜から金曜日の8:00~12:00と13:00~16:45に稼働しています。平均消費電力は60kw程度で、ピーク電力は、圧縮工程の数分間で100kw程度です。その他の時間帯は、保安電力の数kwです。年間の消費電力量は、約120,000kwhです。

255	添付資料	-	添付資料6 既存施設配置図	志津運動公園内の2箇所のトイレを、建設工事期間中に作業員等が使用するトイレとして使わせていただくことは可能でしょうか。可能な場合、トイレに使用する上下水の取り扱いについてご教示ください。	使用可能とします。ただし、上下水道の仮設の申請や料金は事業者負担とします。
256	添付資料	-	添付資料6 既存施設配置図	関西電力の特高線が敷地南側の近傍に存在し、建設工事において重機等から高圧線までの離隔距離を確保する必要があると考えますが、必要な離隔距離についてご指示いただけますか。	事業者で関西電力と協議のうえ、施工計画を検討して下さい。
257	添付資料	-	添付資料6 既存施設配置図	予定地の地盤状態の参考としたいので、現在の草津市立クリーンセンターの焼却施設の煙突の基礎資料をご提示いただけないでしょうか。	「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
258	添付資料	-	添付資料6 既存施設配置図	工事用電源について、既存施設での受電とは別に、更新整備工事用に単独で仮設受電の受電が可能と考えてよろしいでしょうか。	事業者で関西電力と協議のうえ、検討して下さい。
259	添付資料	-	添付資料8 別紙1工場棟、管理棟内部仕上表 (参考)	添付の内部仕上表については、あくまでも参考とし、詳細については、事業者提案によるものとして計画を行ってほしいでしょうか。	お見込みの通りです。
260	発注仕様書 添付資料8 (別紙1)	-	工場棟、管理棟内部仕上表 (参考)	内部仕上表（参考）の取り扱いについて、要求水準書で求められている機能・性能を満足できると考えられる場合、仕上材の選定・提案を行うことが認められると解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
261	添付資料			敷地境界と既存建物の配置を正確に示した敷地測量図がありましたら開示願います。また上記のCADデータについても開示願います。	「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。

262	添付資料			現状の敷地高低測量資料がありましたら開示願います。また上記のCADデータについても開示願います。	「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
263	現場説明会	-	既存施設エリアの整備	現場説明会において、既存施設エリアの整備・撤去が必要とのことでしたが、その整備範囲及び撤去設備の仕様・図面類をご提示願います。	提供可能な資料については、「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
264	その他			物価変動に基づく請負金額変更条件等の確認のため、本件における契約約款又は契約書案の提示をお願いします。	「草津市廃棄物処理施設建設室（市役所1階）」で閲覧・貸出を可能とします。なお、貸出日・日数は協議により指定をします。
265	その他			技術提案書及び設計図書類について、第三者への公表対象とならないようにご配慮願います。	技術提案書類の中で「技術提案書 概要版」を公表対象とします。